

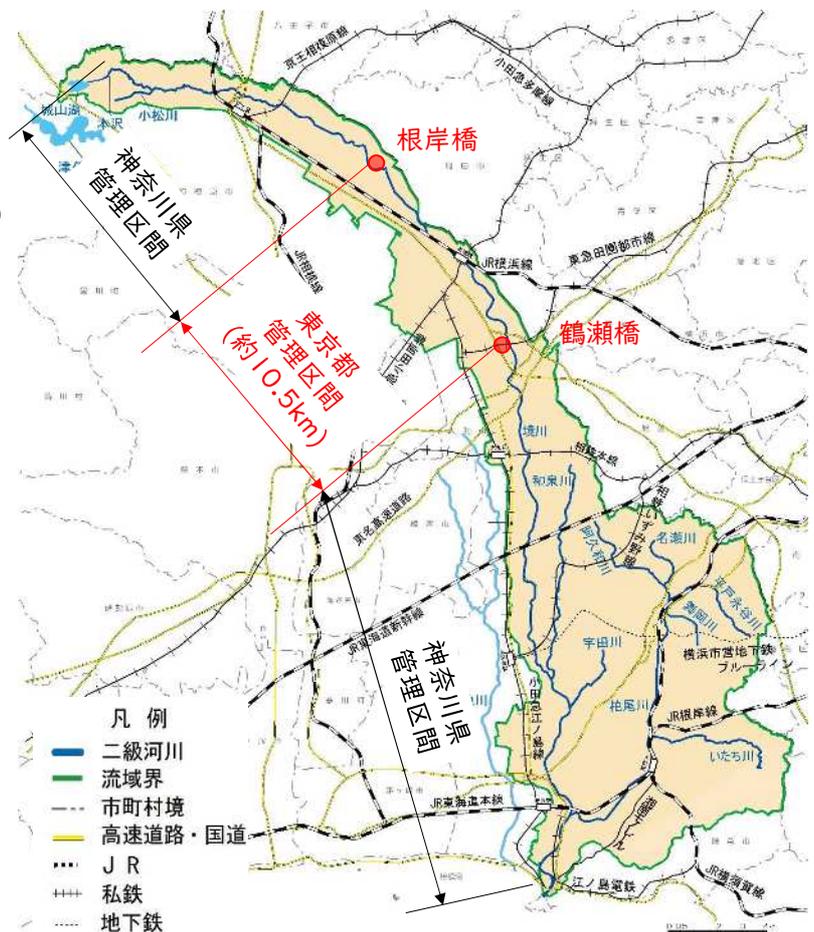
境川木曾西調節池整備に関する オープンハウス

令和 8年 3月 7日(土)

東京都 建設局

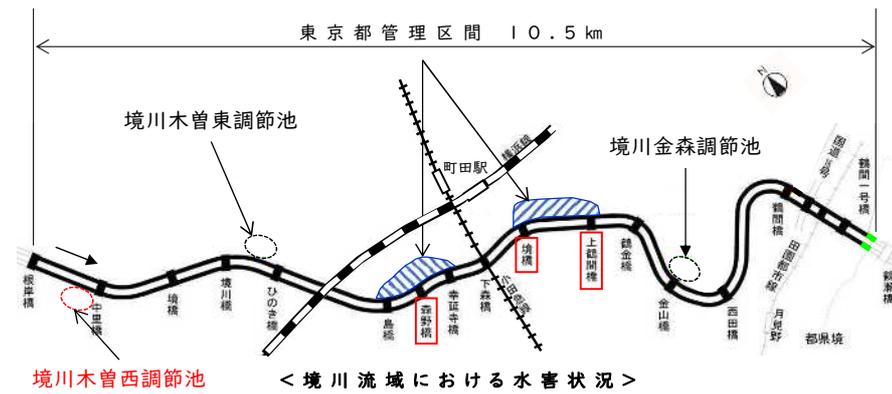
1. 境川の概要

- ・ 流域面積:約211km²
- ・ 幹川流路延長:約52km
- ・ 水源:相模原市緑区(城山湖付近)
- ・ 流域の市街化率:約69%(平成20年)
- ・ 流域内人口:約158万人(平成22年)
- ・ 流域市:町田市、相模原市、大和市、
横浜市、藤沢市、鎌倉市の6市

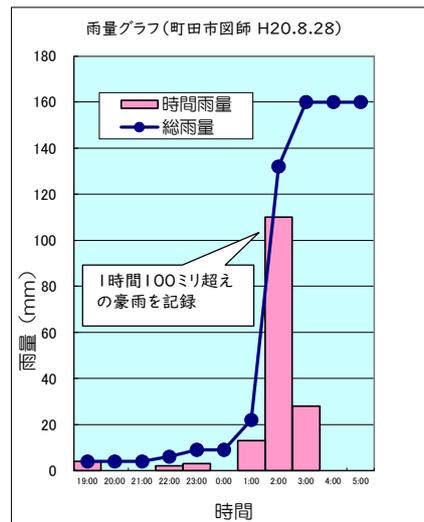


2.平成20年8月末豪雨による水害状況

境川からの溢水による主な浸水箇所



	浸水面積	床上浸水	床下浸水	被害額
町田市	4.59 ha	14 棟	32 棟	約 5.2 億円
相模原市	5.52 ha	12 棟	42 棟	約 1.7 億円



被害状況写真

< 森野橋上流 >



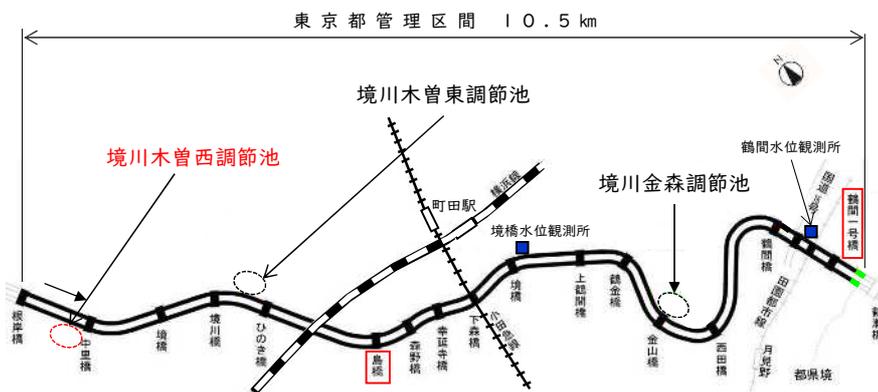
< 境橋下流 >



< 上鶴間橋下流 >



3.平成28年8月21日の出水状況(台風9号)



現場状況写真

< 島橋上流 >



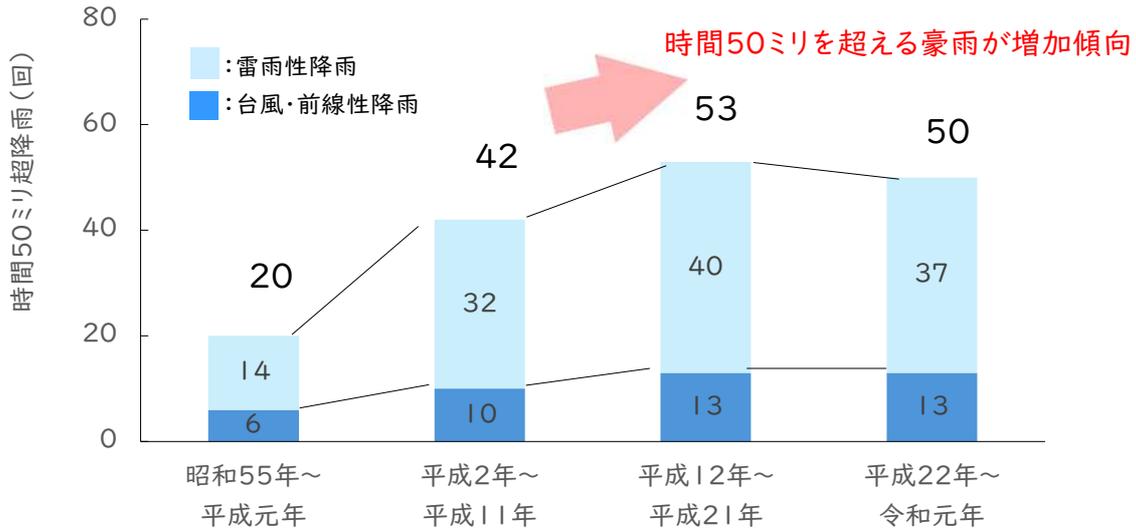
< 鶴間1号橋上流 >



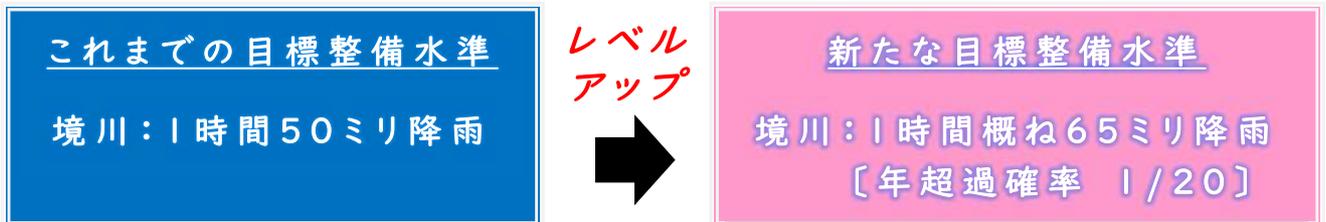
- 気象情報：大雨洪水警報 4時59分
- 水位周知：氾濫危険情報 10時41分
氾濫危険情報解除 17時42分
- 降雨状況：町田観測所 45mm/hr
鶴間 // 51mm/hr
- 水位状況：境橋観測所 護岸天端下がり 65cm
鶴間 // // 89cm
(島橋上流 // // 約30cm 現場で目視)
(鶴間一号橋下流 // // 約 0cm //)

4. 目標整備水準のレベルアップについて

時間雨量50ミリ以上の年間発生回数

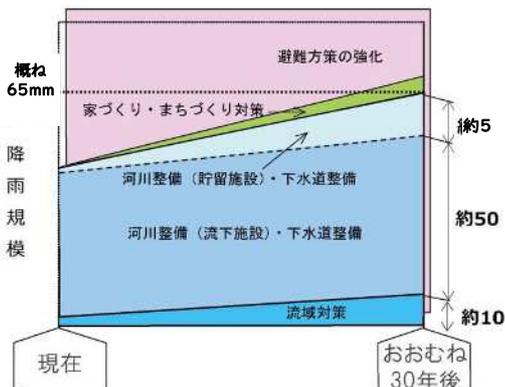


中小河川における都の整備方針 (H24.11策定)、東京都豪雨対策基本方針 (H26.6改定)



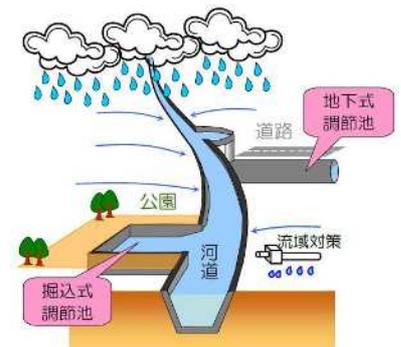
5. 目標整備水準に対する考え方

役割分担



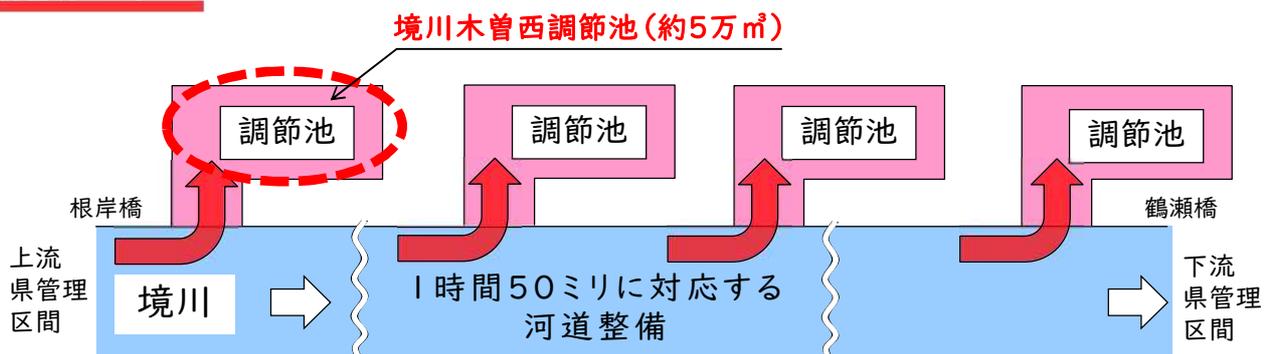
- 1時間50ミリまでの降雨は、河道で対応。
- 1時間50ミリを超える降雨は、川沿いに分散設置する「調節池」と流域対策（貯留施設等）を組み合わせ、1時間概ね65ミリ（年超過確率1/20）に対応。

(各対策のイメージ)



<境川における調節池分散設置のイメージ>

総量約76万m³



※現在境川木曾西調節池のほか、境川木曾東調節池(約5万m³)、境川金森調節池(約15万m³)を整備中

6. 境川（都管理区間）の整備



護岸整備 (護岸整備率98%)



境川木曾東調節池 (完成イメージ)



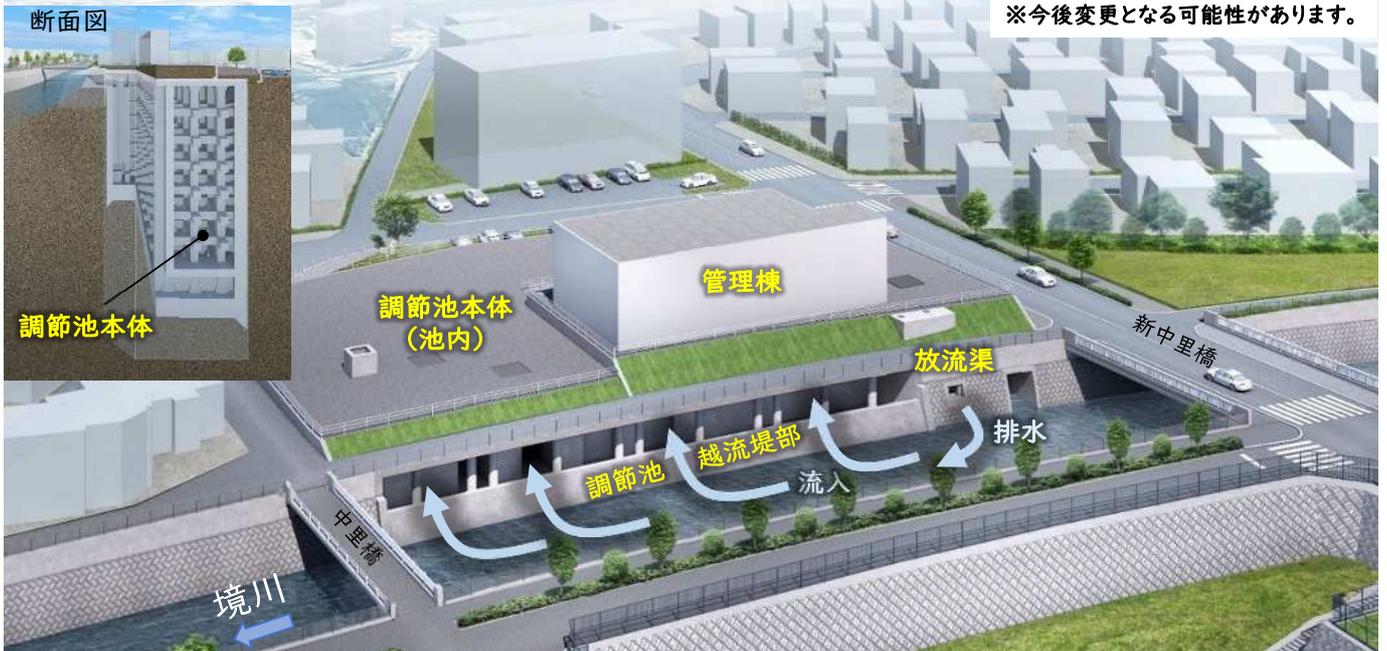
境川金森調節池 (完成イメージ)

7. 境川木曾西調節池の現況・計画重ね図



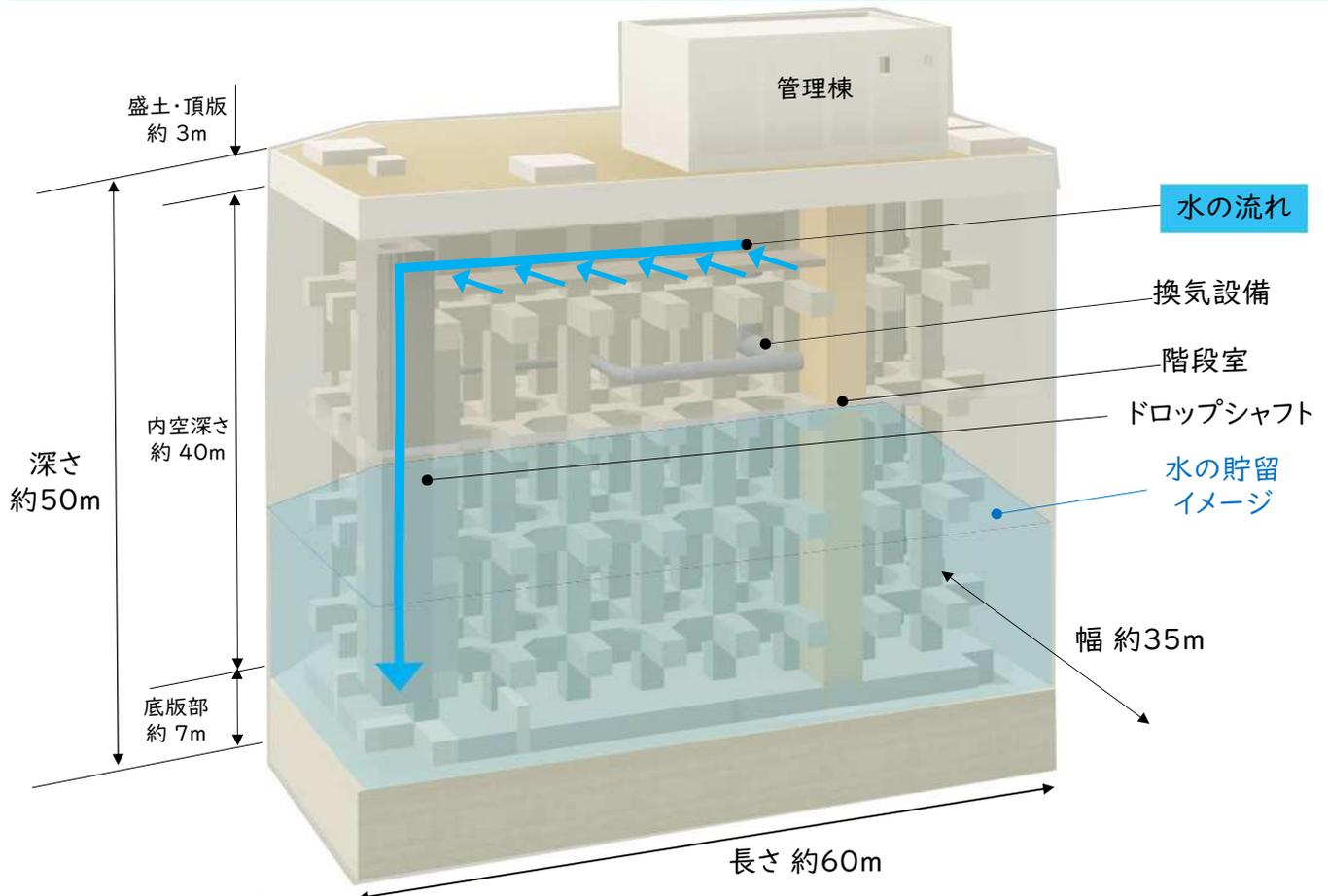
8.境川木曾西調節池概要

※今後変更となる可能性があります。



- ・貯留量: 約50,000m³ (※25mプール約167杯) ・敷地面積: 約3,000m²
- ・形式: 地下箱式調節池 (長さ約60m×幅約35m×深さ約50m)
- ・構造: 鉄筋コンクリート造
- ・管理棟: 地上2階建
- ・設備: 排水ポンプ (貯留した水を川に戻すための設備)
換気設備 (清掃等の維持作業のために調節池内の空気を入れ替えるための設備)
監視制御装置 (ポンプや換気設備を制御するための施設)

9.境川木曾西調節池 本体透視図



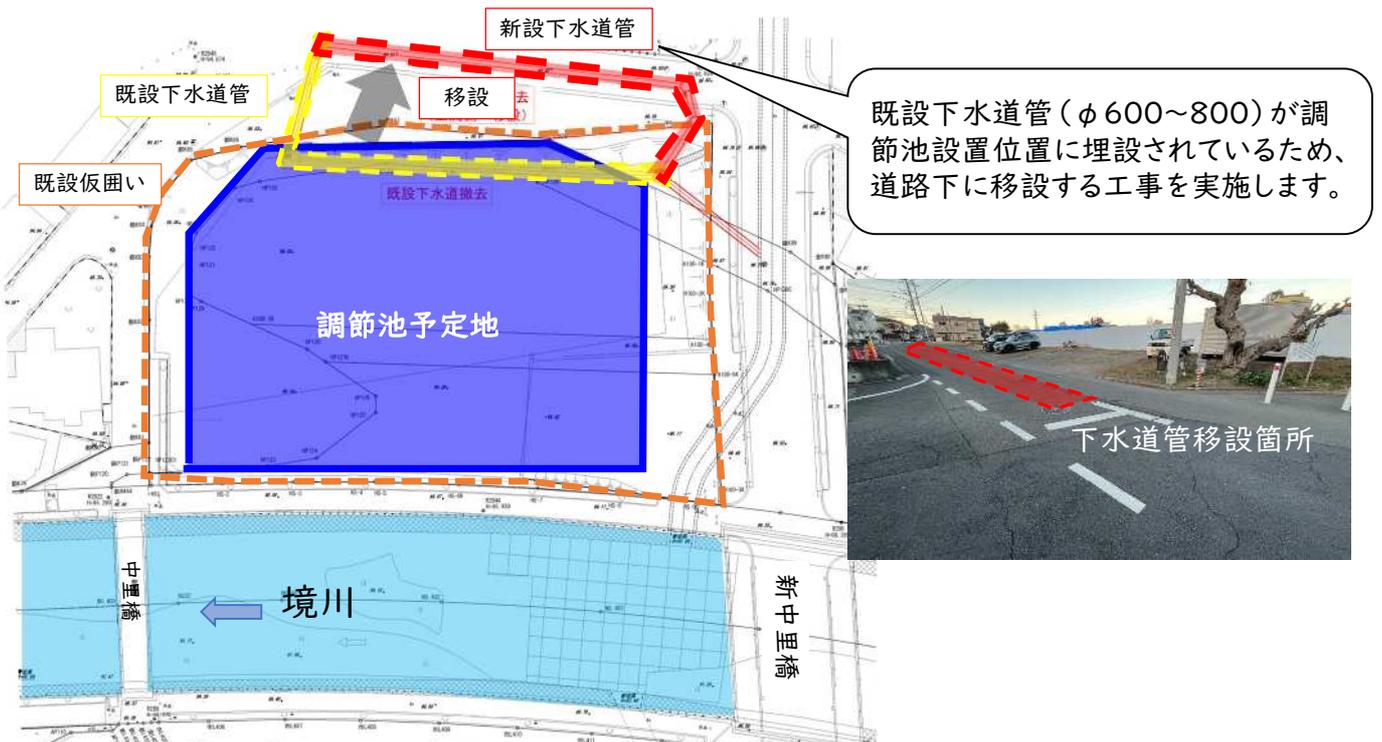
10.境川木曾西調節池整備スケジュール(予定)

工事内容		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度
準備工事	仮囲い設置 試掘等		■											
調節池工事①	下水道管移設				■									
	防音壁設置等				■									
調節池工事②	準備工・仮栈橋工					■								
	躯体工(ニューマチックケーソン工)						■							
	越流堤工											■		
設備工事	機械・電気設備											■		
建築工事	管理棟建築													■
説明会		● 專業説明会 (実施済)		● 整備内容説明会 (今回)		● 躯体工事説明会 (予定)								

※今後変更となる可能性があります。

11.調節池工事①【下水道管移設工事について】

●調節池建設予定地に下水道管が埋設されており、調節池建設に支障となるため移設工事を行います。(令和8年度中)

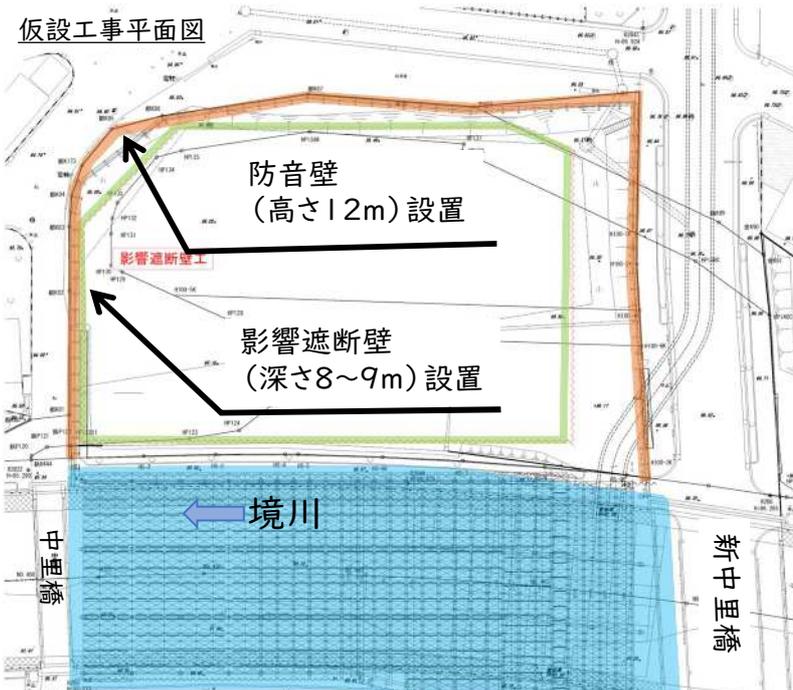


工事は、一部夜間での施工を予定(夜間通行止め)しています。
 詳細については工事契約後、近隣の皆様にお知らせビラを配布します。

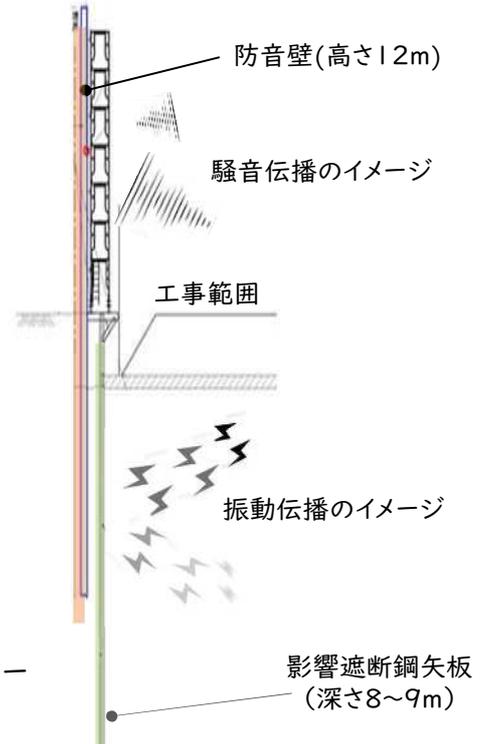
12. 調節池工事①【仮設工事について】

●下水道管移設完了後、調節池躯体工事に先立ち、騒音・振動対策として防音壁と影響遮断鋼矢板を設置する仮設工事を実施します(令和8年度～令和9年度)

仮設工事平面図



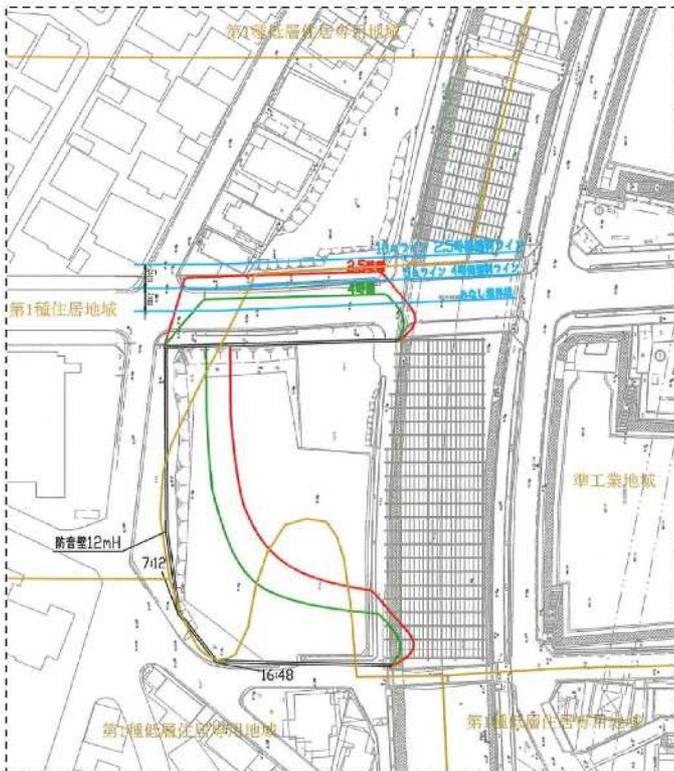
防音壁設置・影響遮断鋼矢板打設断面図



※既設の仮囲いは、本体工事で設置する仮設栈橋と上流側作業ヤードに転用予定です。

工事の詳細は工事契約後、近隣の皆様にお知らせビラを配布します。

13. 防音壁の影響【日影検討】について



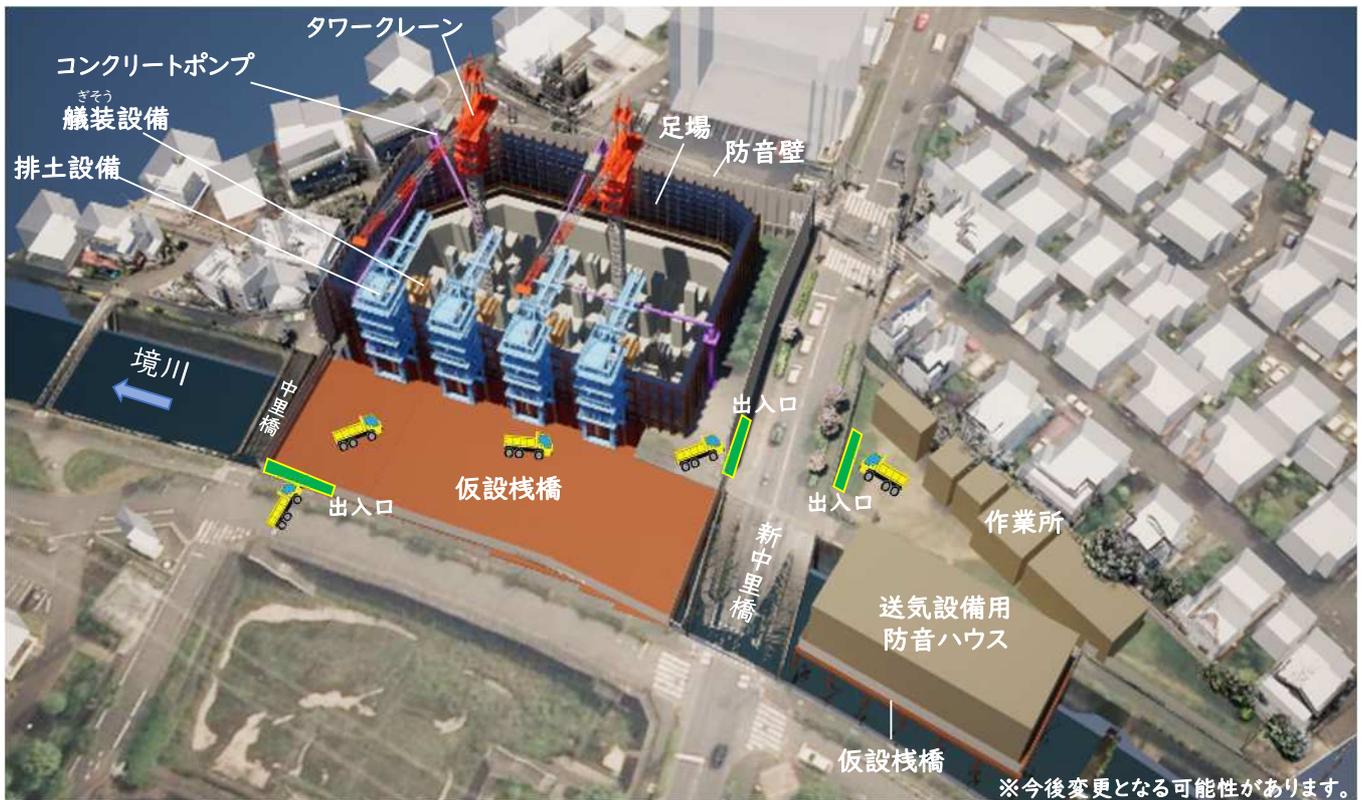
■町田市日影規制値(※町田市HPより抜粋)

用途地域	容積率	高度地区	規制値	規制される日影時間		測定水平面からの高さ(平均地盤面からの高さ)	規制される建築物
				規制される日影(敷地境界線からの水平距離)			
				5メートルを超え10メートル以内の範囲	10メートルを超える範囲		
第一種住居地域	150%	31メートル第一種高度地区	(一)	4時間以上	2.5時間以上	4メートル	高さが10メートルを超える建築物
準工業地域	200%	31メートル第二種高度地区	(一)	4時間以上	2.5時間以上	4メートル	高さが10メートルを超える建築物

●検討の結果、敷地境界線より5m、10mラインを超え規制時間以上となる部分が存在しないため、日影についての問題が発生する可能性は低いと考えられます。

14. 調節池工事②【躯体工事】について

●仮設工事完了後、調節池躯体工事に着手します。本工事ではまず、境川の上部に仮設栈橋を設置します。その後、ニューマチックケーソン工法で調節池躯体の構築を行います。
(令和9~16年度予定)

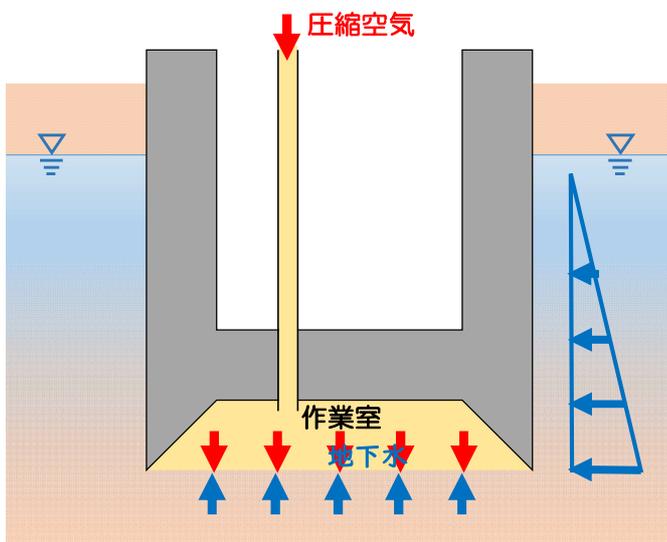


15. ニューマチックケーソン工法とは

ニューマチックケーソン工法とは？

ケーソン（鉄筋コンクリートの構造物）下部の作業室に圧縮空気を送り込み、**地下水の浸水を防ぎながら掘削作業を行い、地上で構築したケーソンを沈設する工法**です。

【原理】



【メリット】

○**安全性が高い。**

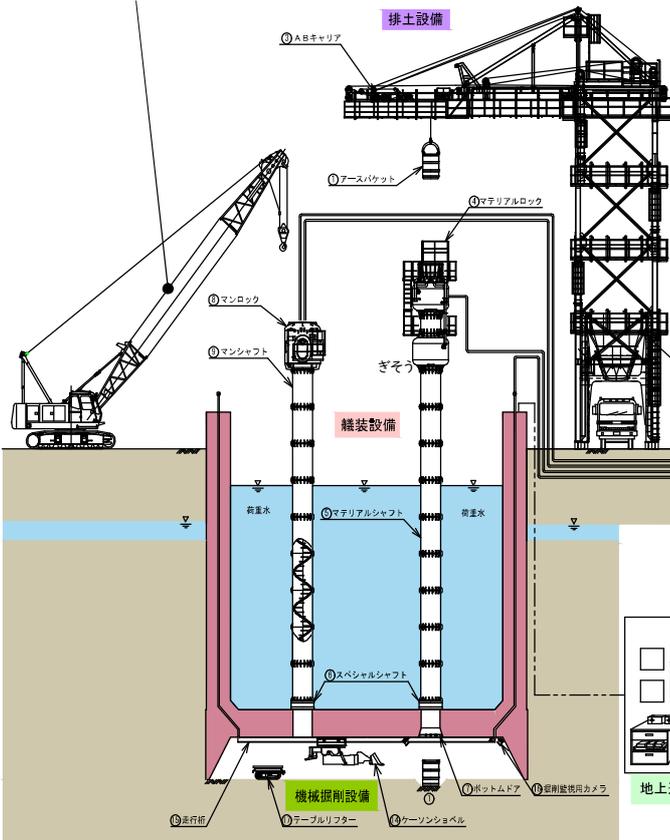
- ・沈設させたケーソンが、そのまま地下箱式調節池本体となるため、**周辺地盤への影響が少ない。**
- ・作業室内で直接地盤の強弱を確認することができるため、**安全な沈設が可能。**

○**地下水を低下させない。**

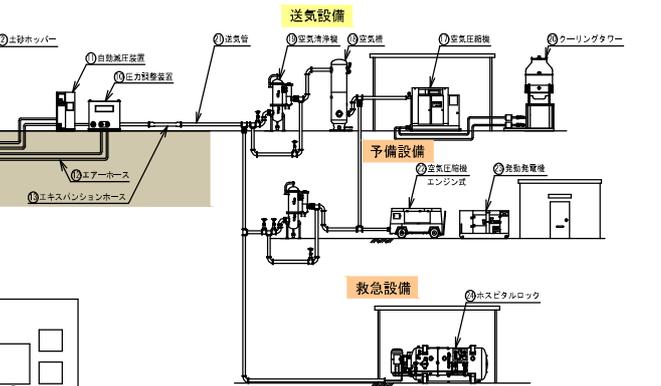
- ・地下水の浸水を防ぎながら掘削するため、**地下水の低下がなく、周辺地盤への影響が少ない。**

16.ニューマチックケーソン工法の主要設備

現計画ではタワークレーンを使用予定



機械掘削設備…作業室内で地盤を掘削する設備
 ぎそう (天井走行式のショベル等)
 艀装設備…高気圧下の作業室から、人や物を出し入れするための設備。
 (マンロックは人の出入、マテリアルロックは土砂の出入)
 排土設備…掘った土砂を地上に搬出する設備
 送気設備…地盤を掘削する場所に「圧縮空気」を供給するための設備
 その他救急設備や停電時のための予備設備あり

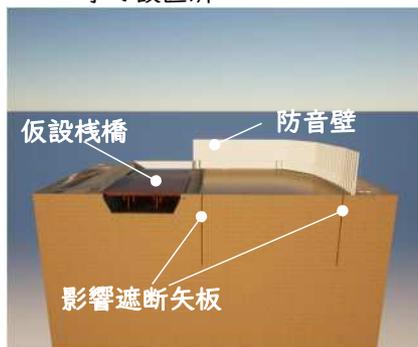


17.調節池躯体工事の施工手順

※今後変更となる可能性があります。

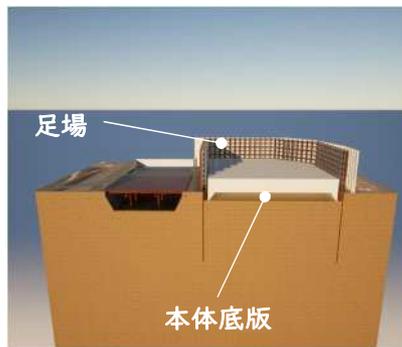
【手順①】

- ▶ 河道内に仮設栈橋を整備
- ※ 防音壁、影響遮断矢板は別途工事で設置済



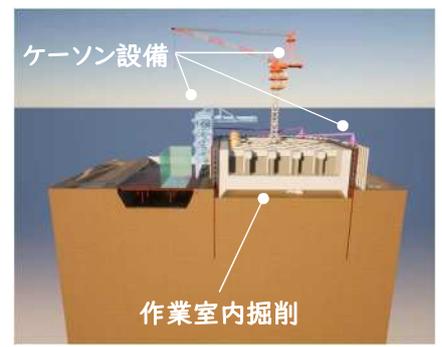
【手順②】

- ▶ 足場の設置
- ▶ 本体底版の構築



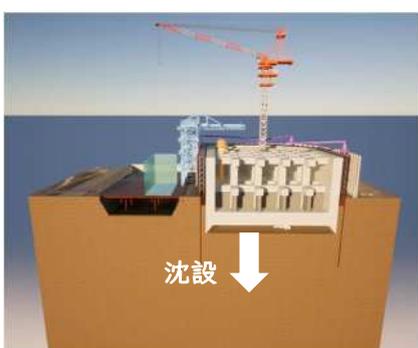
【手順③】

- ▶ ケーソン設備を整備
- ▶ 上部にケーソン(本体)を構築し、作業室内を掘削



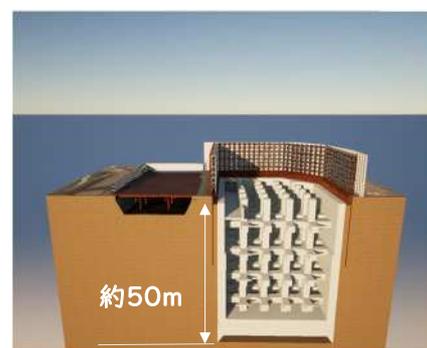
【手順④】

- ▶ 作業室内の掘削を進めることにより、本体が自重等で沈設



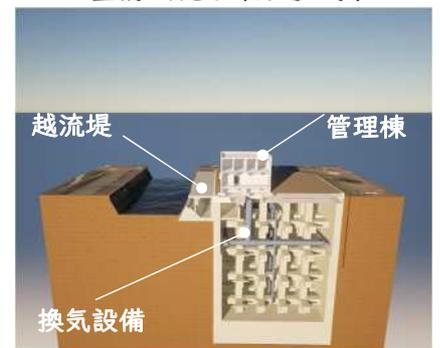
【手順⑤】

- ▶ 構築-掘削・沈設を繰り返し、所定の深さまで本体を構築



【手順⑥】

- ▶ 越流堤を構築
- ▶ 管理棟や機械・電気設備を整備し、完了 (別途工事)



18.安全対策について

■安全対策① 交通誘導員の配置

車両出入口には**交通誘導員**を配置し、歩行者等の安全を確保

■安全対策② 工事用車両の幹線道路走行等

工事用車両は、基本的に新中里橋のある**幹線道路**を走行

工事範囲を閉鎖管理し、河川管理用通路を通行止めとすることで、歩行者と工事車両を分離

■安全対策③ 地盤変位等のモニタリング

地下水位や地盤変位を**継続的にモニタリング**し、工事影響を監視

通行止め等 範囲図



地盤変位モニタリング写真(例)

※今後変更となる可能性があります。

19.環境対策について

■環境対策① 環境に配慮した建設機械の使用

低騒音型・低振動型、排出ガス対策型の建設機械を使用

■環境対策② 防音壁・防音ハウスの設置

工事範囲に**防音壁**や**防音ハウス**を設置し、騒音を低減

■環境対策③ 影響遮断鋼矢板の打設

調節池外周部の地下に鋼矢板を打設することで、**周辺地盤の変位や振動の影響**を遮断



防音壁写真



防音ハウス写真

20.木曾東調節池事業について(R7.10月より稼働開始)

境川木曾東調節池の概要

- 貯留量:約4.9万 m^3 ※25mプール約164杯
- 形式:地下箱式(鉄筋コンクリート構造)
- 付属施設:排水ポンプ、スクリーン、換気設備、管理棟等

- ・令和2年6月より工事を進めてきた境川木曾東調節池は、令和7年10月10日より取水(稼働)を開始

※ 境川初の地下調節池

- ・平成20年8月末豪雨や令和6年台風第10号等で溢水被害の発生した地域において、水位の低減効果が期待



21.金森調節池事業について

境川金森調節池の概要

- 貯留量:約15万 m^3 ※25mプール約500杯
- 形式:地下箱式(鉄筋コンクリート構造)
- 付属施設:排水ポンプ、スクリーン、換気設備、管理棟等

- ・平成30年10月より進めてきた金森調節池工事は、調節池躯体の建設は概ね完了しました。
- ・令和8年度中の稼働開始を目指し、現在は調節池の内部構築や越流堤工事を進めています。

■完成イメージ(調節池上部は町田市が公園整備予定)



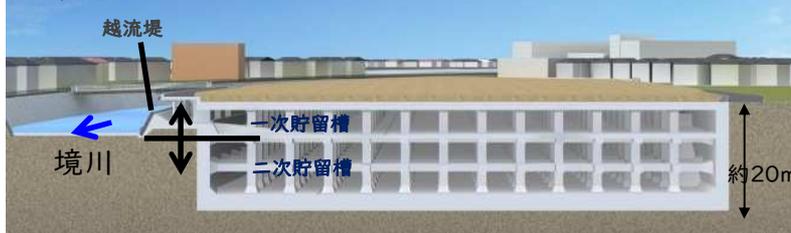
■調節池頂板埋戻しの状況写真(上空から見た写真)



■調節池躯体構築状況



■断面図



<問い合わせ先>

○調節池の整備に関すること
東京都建設局南多摩東部建設事務所工事課 TEL 042-720-8677

○河川の計画に関すること
東京都建設局河川部計画課 TEL 03-5320-5415